



映像教材をつくってみよう！（編集編）

前回（No.56）は映像素材を準備するところまで解説しました。今回は、それらを使って具体的な映像編集の手順を説明していきます。手順は編集ソフトによって差異がありますが、大まかな流れは一緒ですので、それらを解説していきます。

編集手順

右の図が動画編集ソフトの基本的な画面構成です。

①素材の取り込み

編集ソフトに素材を取り込む際は、画面の素材置場のエリアに素材をドロップして登録しておきます。

素材は、動画であればmp4やmov形式、画像であればpngやjpg形式、音声であればwavやmp3形式になります。

②タイムラインへの取り込み、調整

一通り素材の登録が終わったら、素材をタイムラインに配置していきます。

動画・画像ファイルと音声ファイルは別のタイムラインに配置します。

編集ソフトによってはタイムラインを複数使用することができるものもあります。

また、配置した素材の調整（大きさや角度、トリミングなど）は

右の要素調整画面（インスペクタ）にて調整します。

③プレビューから書き出しへ

配置して調整した内容は上部のプレビューウインドウで確認できます。

素材の調整や内容の構成が意図通りにできていれば書き出して完成となりますが、

書き出しには時間がかかりますので、プレビューにて入念に確認をしておきます。

動画として書き出す場合には、「出力」「書き出し」「デリバリー」などのメニューから

動画書き出し画面に遷移し、基本的にはmp4形式にて動画ファイルを出力します。



取り込めるファイル	形式
動画	mp4 mov
画像	png jpg
音声	wav mp3

書き出す動画ファイル	形式
動画	おもに mp4形式 または mov形式

覚えておきたい用語

FPS (Frame per second)：秒間辺りのフレーム数を指します。フレームというのはパラパラ漫画の一コマのようなイメージです。FPSが設定できる場合は24FPSか30FPSが妥当です。

解像度：よく耳にする「フルHD」は横1920ピクセル×縦1080ピクセルで構成されています。ピクセルというのは画像を表示するためのドット（点）のことです。4KはフルHDの4倍の広さなので3840×2160ピクセルになります。なお、縦横比は16:9になります。

どのソフトにも言えますが、何度も使っていくうちに操作に慣れてきますので、まずは数をこなすようにしましょう。

お問い合わせ

MC 株式会社 **メディカ出版** 基礎教育営業課
〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

デジタルナーシング・グラフィカに
関するお問い合わせはこちら⇒

